

ボランティア通信



12月5日が「国際ボランティア・デー」だということを知っていましたか？

1985年（昭和60年）12月の国連総会により制定されたことから国際ボランティア・デーとなっています。世界中の経済と社会開発の推進のため、ボランティア活動の貢献に対する認識を高め、社会のあらゆる層からより多くの人々が、国内外においてボランティア活動に参加できる機運を高める日となっています。



**International
Volunteer Day**

ボランティアとは、自発的に他人・社会に奉仕する人を意味しています。ボランティア活動の基本理念は、公共性・自発性・先駆性です。

日本では、1995年（平成7年）の阪神・淡路大震災において、全国から大勢のボランティアが被災地に駆けつけたことから、同年「ボランティア元年」とも呼ばれています。また、震災が起きた1月17日は「防災とボランティアの日」となっています。

ボランティア講座 「在宅避難について学びませんか？」

在宅避難とは、大きな地震が発生したとき、自宅に倒壊や焼損の危険性がない場合に、避難所へ避難するのではなく、自宅で避難生活を送る方法です。自宅で避難する方法を学んでみませんか。

- ▶日 時：令和5年2月23日（木）
午前10時から正午まで
- ▶会 場：みよし市立福祉センター3階大ホール
- ▶参加費：300円
- ▶定 員：20名
- ▶申込先：令和5年1月5日（木）から1月31日（火）までに、みよし市ボランティアセンターに電話（0561-34-1588）もしくは直接申込みください。



おしゃべり会でボランティアが大活躍

傾聴



10月28日(金)に「お話を聴く会」の協力のもと、社会福祉協議会主催で三好中学校区の65歳以上のひとり暮らしの人に声をかけ、高齢者交流事業「おしゃべり会」が開催されました。

お話を聴く会は、社会福祉協議会が主催した傾聴ボランティア講座の修了者を中心に活動している団体です。

エコキャップ運動のご協力いつもありがとうございます！

エコキャップ運動とは、これまで、ごみとして捨てられてきたペットボトルのふた（キャップ）を回収・リサイクルして、ごみの減量化を図るとともに、回収したキャップをリサイクル事業者へ売却して得た収益で、世界の発展途上国の子どもたちにワクチンを届けようという運動です。

☆キャップを集めるときの注意点

飲料水ペットボトルのキャップのみ回収します。
ケチャップ、ソース、しょうゆなどの容器のフタは回収しません。
キャップのシール（値札やキャンペーンシール）は、できるだけはがしてください。
汚れている場合は、簡単に水洗いしてください。

①金属類（アルミ、鉄等）やピン、缶は入れずにご提供ください



②ペットボトル以外のキャップは入れずにご提供ください



③シールはできるだけ取ってご提供ください



④汚れたキャップはできるだけ洗い、乾燥させてからご提供ください

